

Virtual BoxにMeego 1.2を インストールする方法

第2版

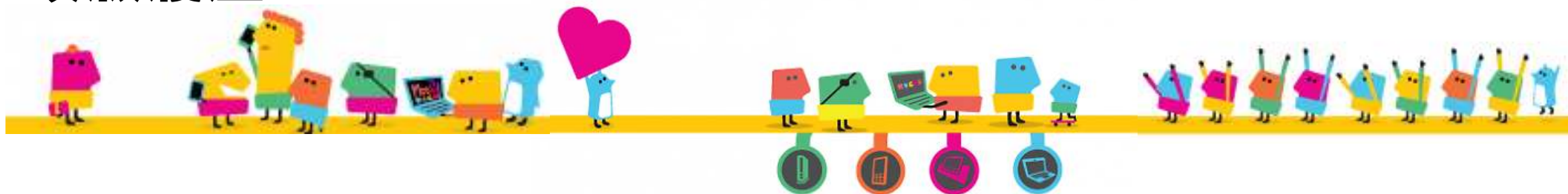
作成日：2011/8/6

更新日：2011/8/9

作者：関西Meego勉強会 N田

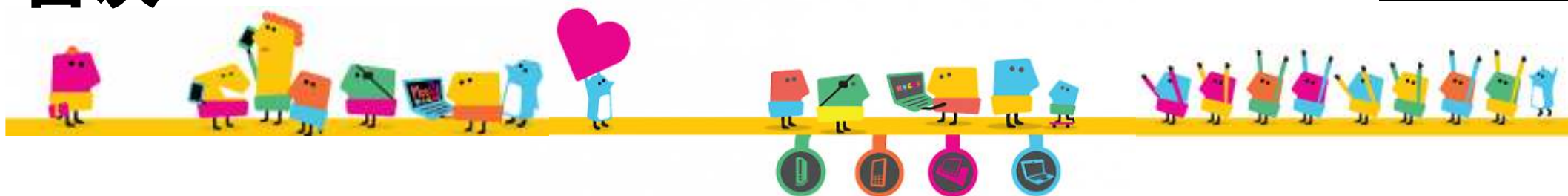


改版履歴



日付	版数	ページ	修正内容
2011/8/6	1	—	初版(第2回 関西Meego勉強会発表)
2011/8/9	2	34	セットユーザー手順を削除。 (xorg-x11-server-Xorg-setuidのinstallのみで良い為)
		35	Guest Additionインストール手順を追加。 (手順のみだとエラーが発生するため)
		46	ダウンロードするclutterのソースのバージョンを修正。 (clutter 1.2.8→clutter 1.2.14)

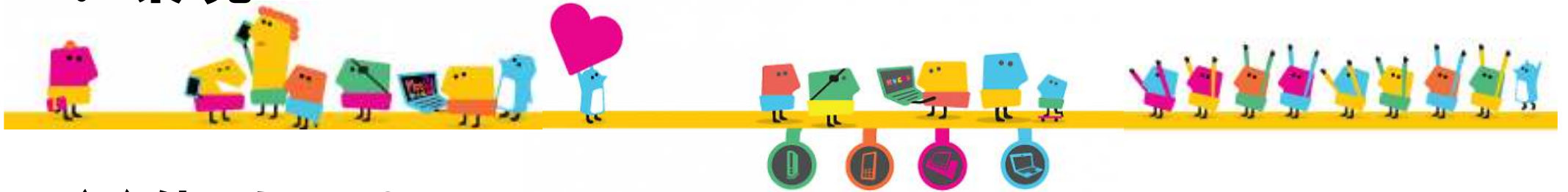




1. 環境
2. Virtual Box インストール
3. Meego 1.2 インストール準備
4. 仮想マシン作成
5. 仮想マシン設定
6. Meego 1.2 インストール
7. Meego 1.2 起動時作業
8. Meego 1.2 起動後作業
9. まとめ



1. 環境



(1) 使用したPC

PC名:DELL OPTIPLEX 755

CPU:Core 2 Duo プロセッサー 2.33GHz

メモリ:2GB

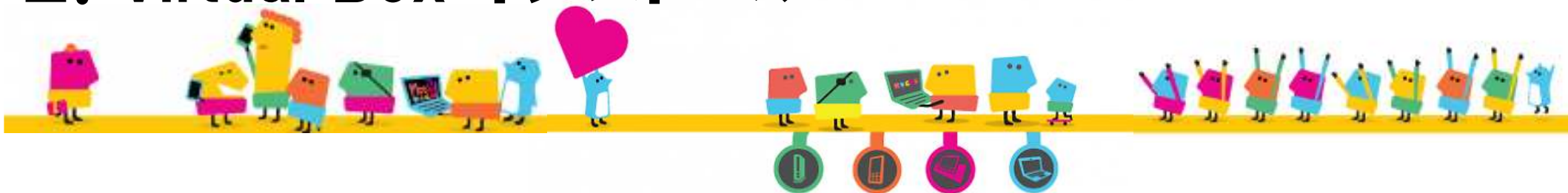
Graphic:Q35 Express Chipset オンボード

(2) OS

Ubuntu 10.04 LTS 64Bit



2. Virtual Box インストール



パッケージリストを取得するサーバーを追加します。

(1) /etc/apt/sources.list をテキストエディタで開きます。

(2) sources.listの最後に以下を追加します。(※)

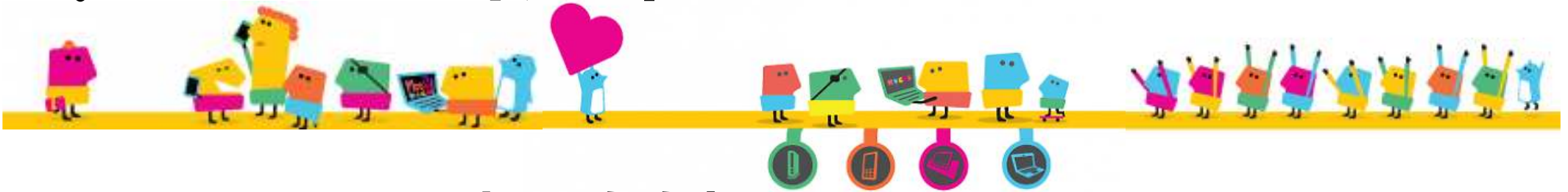
```
deb http://download.virtualbox.org/virtualbox/debian lucid contrib non-free
```

※Ubuntu10.04以外では追加する文字列が異なります。10.04以外についてはVirtual BoxのHPを参照してください。

URL : http://www.virtualbox.org/wiki/Linux_Downloads



2. Virtual Box インストール



Virtual Boxをインストールします。

(1) 公開鍵ファイルを導入します。

```
# wget http://download.virtualbox.org/virtualbox/debian/oracle_vbox.asc
```

```
# sudo apt-key add oracle_vbox.asc
```

(2) Virtual Boxをインストールします。

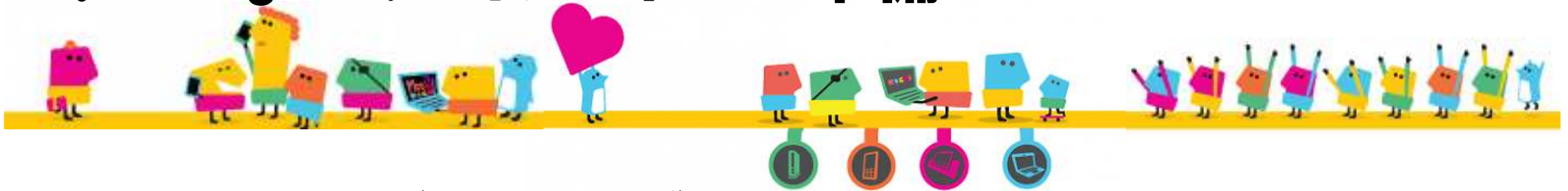
```
#sudo apt-get update
```

```
#sudo apt-get install virtualbox-4.1
```

```
#sudo apt-get install dkms ← 必要ないかも
```



3. Meego 1.2 インストール準備



Meegoのイメージファイルをダウンロードします。

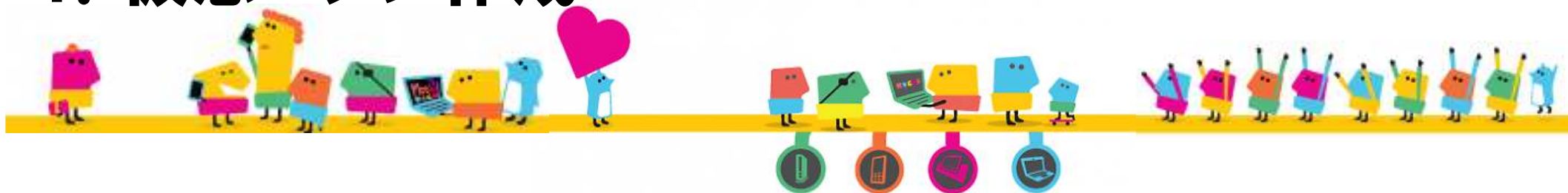
(1) 以下のコマンドでイメージファイルをダウンロードします。

```
wget http://repo.meego.com/MeeGo/releases/1.2.0/images/meego-netbook-ia32/meego-netbook-ia32-1.2.0.img
```

(2) ダウンロードしたmeego-netbook-ia32-1.2.0.imgをmeego-netbook-ia32-1.2.0.isoに拡張子を変更します。



4. 仮想マシン作成



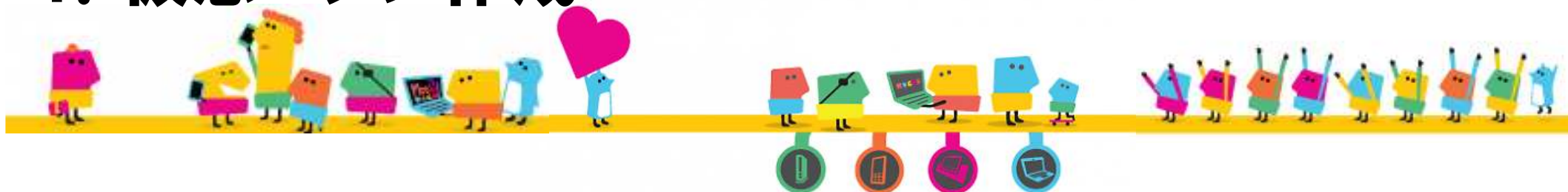
Virtual Boxに仮想マシンを作成します。

(1) アプリケーション→システムツール→Oracle Virtual BoxよりVirtual Boxを起動します。

(2) 新規をクリックします。



4. 仮想マシン作成

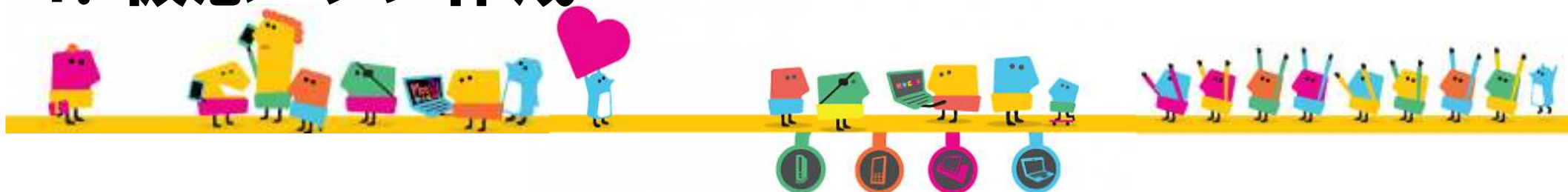


Virtual Boxに仮想マシンを作成します。(続き)

(3) 新規仮想マシン作成ウィザード画面が表示されるので”次へ”をクリックします。



4. 仮想マシン作成



Virtual Boxに仮想マシンを作成します。(続き)

(4) 名前、OSタイプを以下のように入力します。

名前:好きな名前を入力

OSタイプ:オペレーティングシステム→Linux、バージョン→Fedora

仮想マシン名とOSタイプ

新規仮想マシンの名前を入力し、仮想マシンにインストールしたいゲストOSのタイプを選択してください。

通常、仮想マシンの名前はソフトウェアとハードウェア構成を示します。VirtualBoxは作成された仮想マシンを特定するためにこの名前を使用します。

名前(A)

Meego-VM

OSタイプ(T)

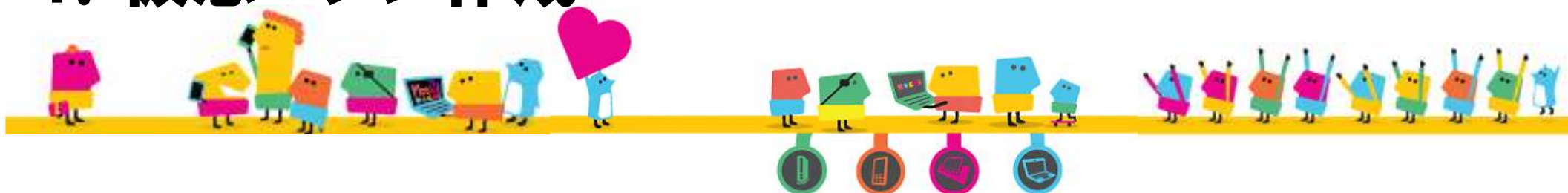
オペレーティング システム(S): Linux

バージョン(V): Fedora

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル



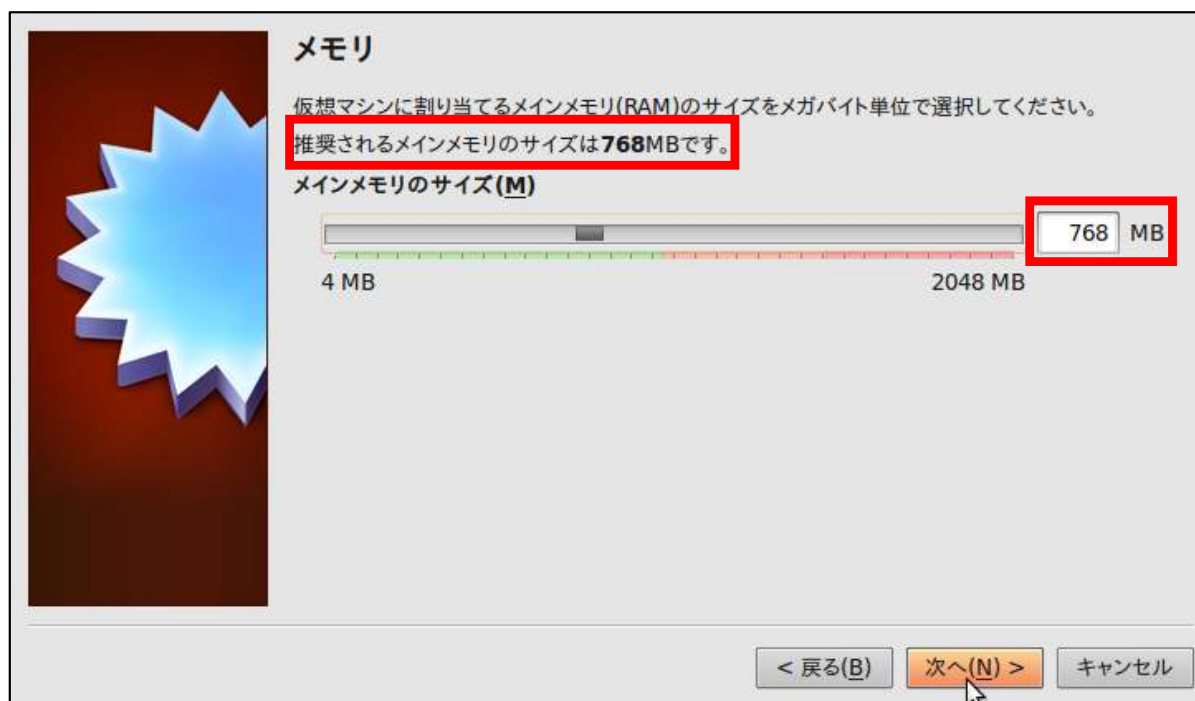
4. 仮想マシン作成



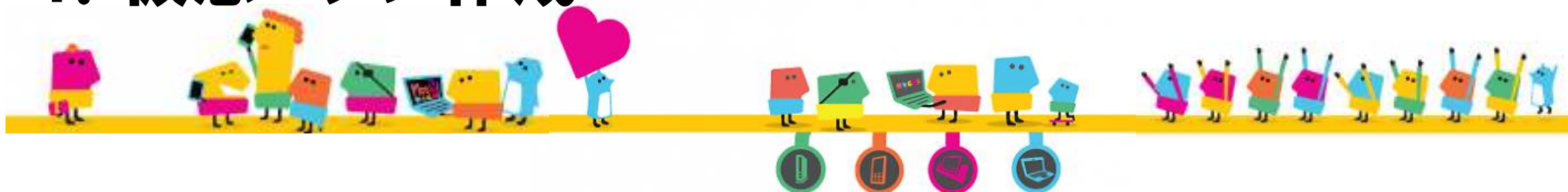
Virtual Boxに仮想マシンを作成します。(続き)

(5) メモリを割り当てます。

どれくらい割り当てるかはPCの環境に依存しますが、デフォルトで表示される推奨されるサイズでOKだと思います。



4. 仮想マシン作成



Virtual Boxに仮想マシンを作成します。(続き)

(6) 仮想ハードディスクを作成します。

新規ハードディスクにチェックし、新規ハードディスクの作成を選択します。(デフォルトのままです。)

仮想ハードディスク

仮想マシンで起動ディスクとして使用する仮想ハードディスクを選択します。新規ハードディスクを作成するか、ドロップダウンリストまたはファイル選択ダイアログから既存のハードディスクを選択できます。

より高度なハードディスク設定が必要であれば、このステップをスキップし、後で仮想マシン設定ダイアログを使用してハードディスクを割り当てることもできます。

推奨される起動ディスクのサイズは**8.00 GB**です。

起動ディスク(D)

新規ハードディスクの作成(C)

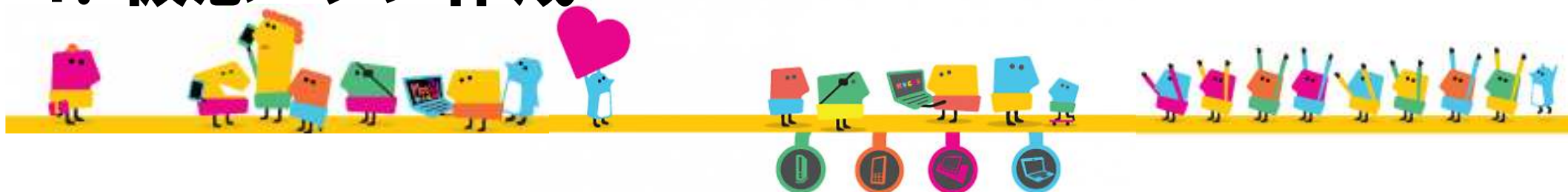
既存のハードディスクを使用(U)

空

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル



4. 仮想マシン作成



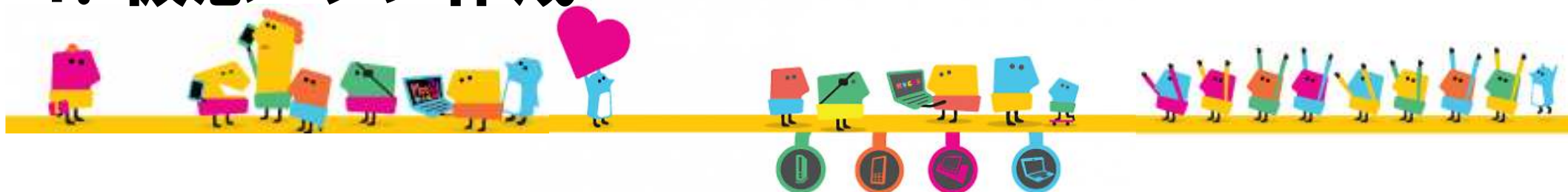
Virtual Boxに仮想マシンを作成します。(続き)

(7) 仮想ハードディスクのファイル形式を選択します。

VDIを選択します。(デフォルトです。)



4. 仮想マシン作成



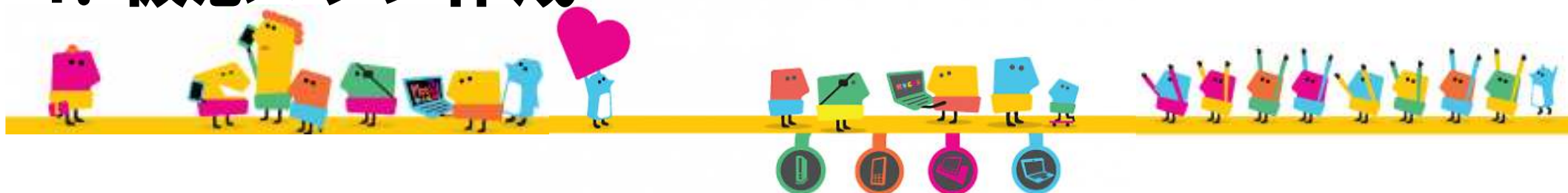
Virtual Boxに仮想マシンを作成します。(続き)

(8) 仮想ハードディスクファイルの詳細(可変 or 固定)を選択します。

“Dynamically allocated” (可変) を選択します。(デフォルトです。)



4. 仮想マシン作成



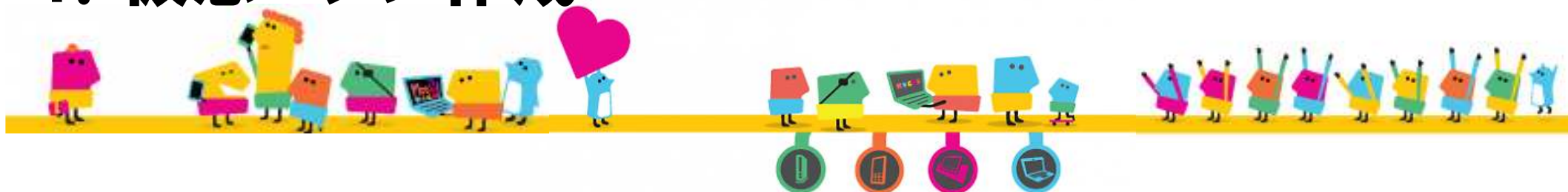
Virtual Boxに仮想マシンを作成します。(続き)

(9) 仮想ハードディスクのサイズを設定します。

8GBでOKだと思います。(デフォルトです。)



4. 仮想マシン作成



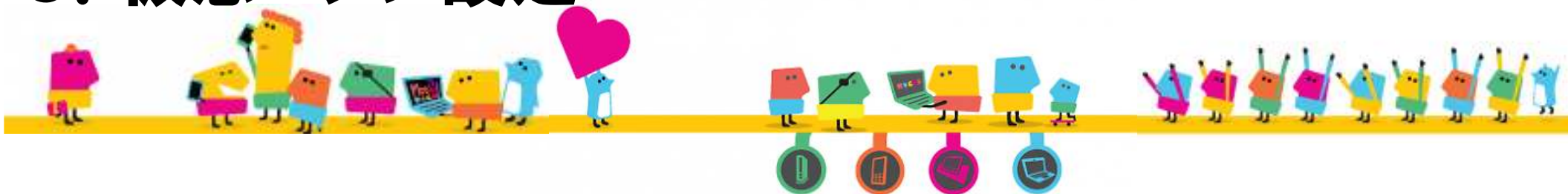
Virtual Boxに仮想マシンを作成します。(続き)

(10) 概要が表示されます。

“Create”を選択します。選択後、仮想ハードディスクが作成されます。



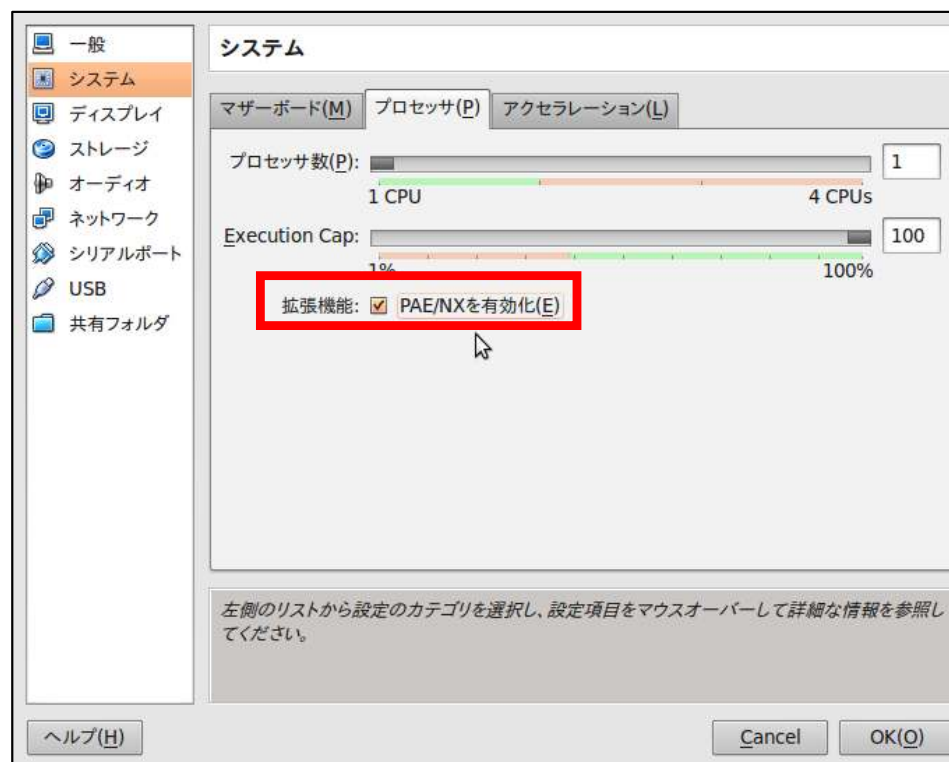
5. 仮想マシン設定



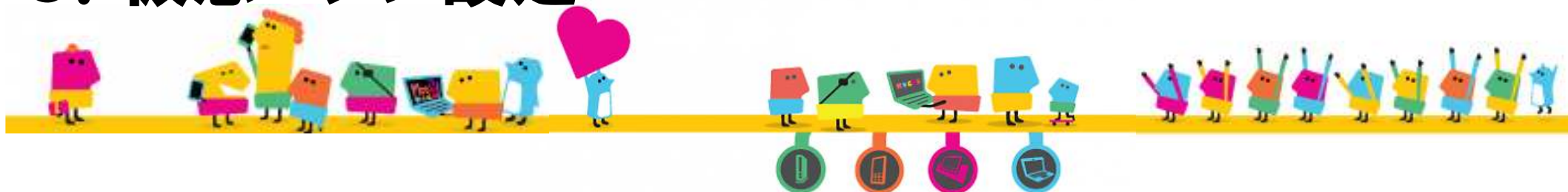
仮想マシンの設定を行います。

(1) プロセッサの設定を行います。

PAE/NXを有効化にチェックを入れます。



5. 仮想マシン設定

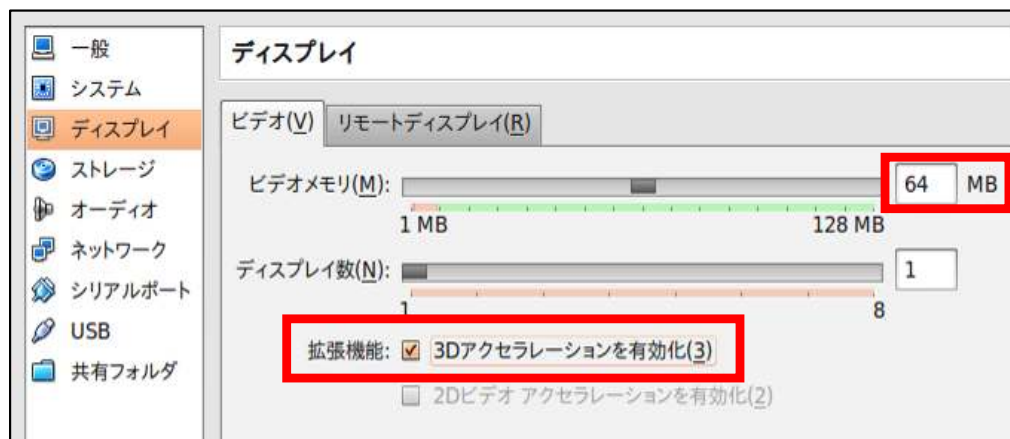


仮想マシンの設定を行います。(続き)

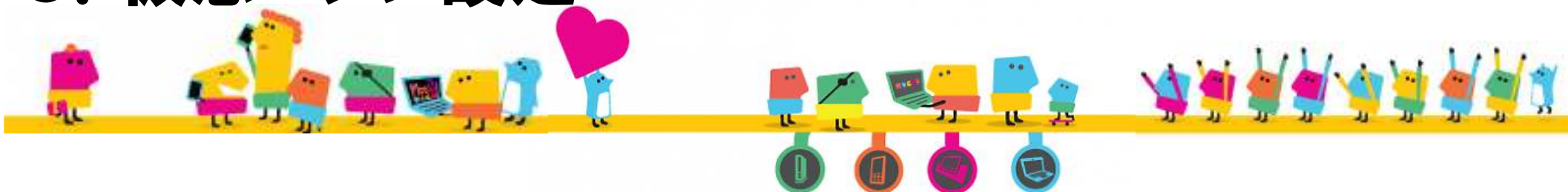
(2) ディスプレイの設定を行います。

ビデオメモリを12MBから64MBに変更します。(メモリ割当量はホストPCに依存)

“3Dアクセラレーションを有効化”にチェックを入れます。“3Dアクセラレーションを有効化”にチェックしないほうが早い場合もあるようです。(私の環境は入れないほうが早かったです)



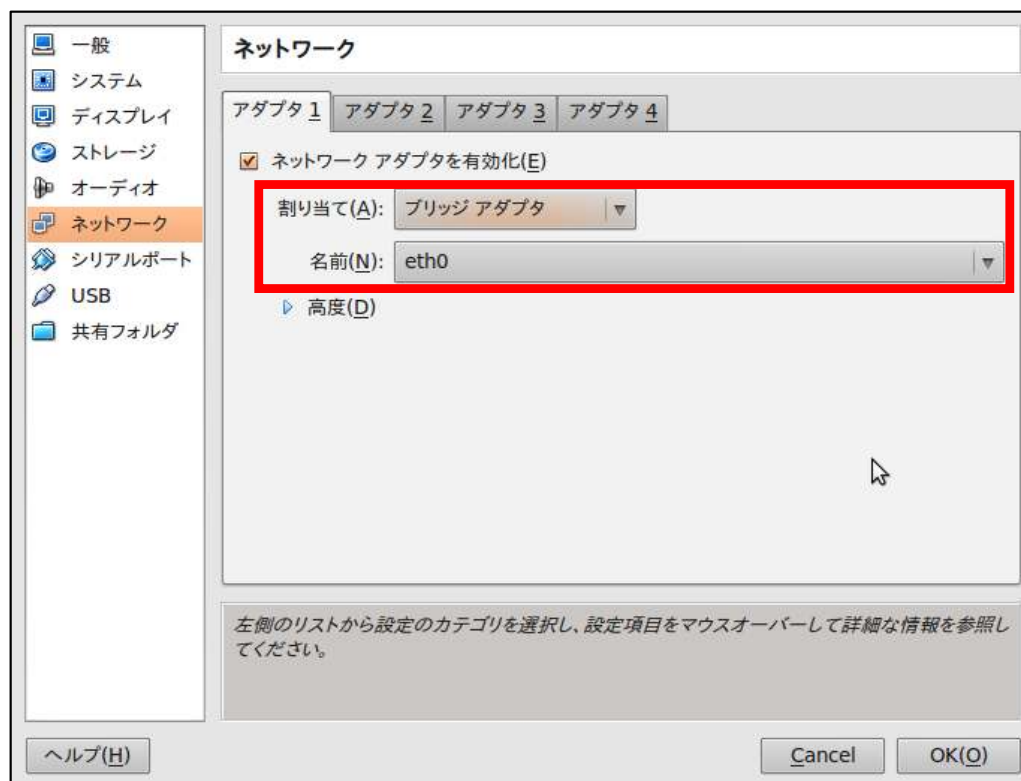
5. 仮想マシン設定



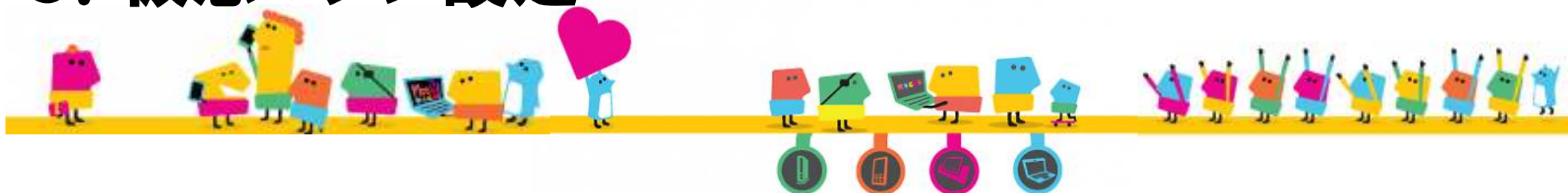
仮想マシンの設定を行います。(続き)

(3) ネットワークの設定を行います。

割り当て:ブリッジアダプタ、名前:eth0に変更します。



5. 仮想マシン設定



仮想マシンの設定を行います。(続き)

(4) ストレージにisoファイルを追加します。

①

クリック

②

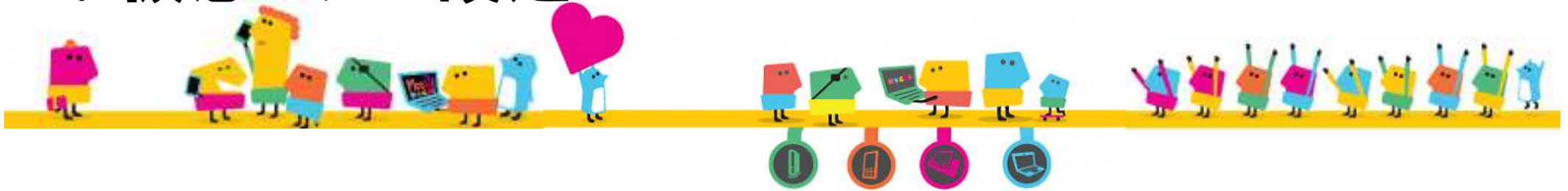
CD/DVDドライブをコントローラ"IDE コントローラ"に追加します。
仮想CD/DVDディスクをドライブに割り当てますか? 空のドライブだけ割り当てますか?

キャンセル 空のドライブ(E) **ディスクを選択(C)**

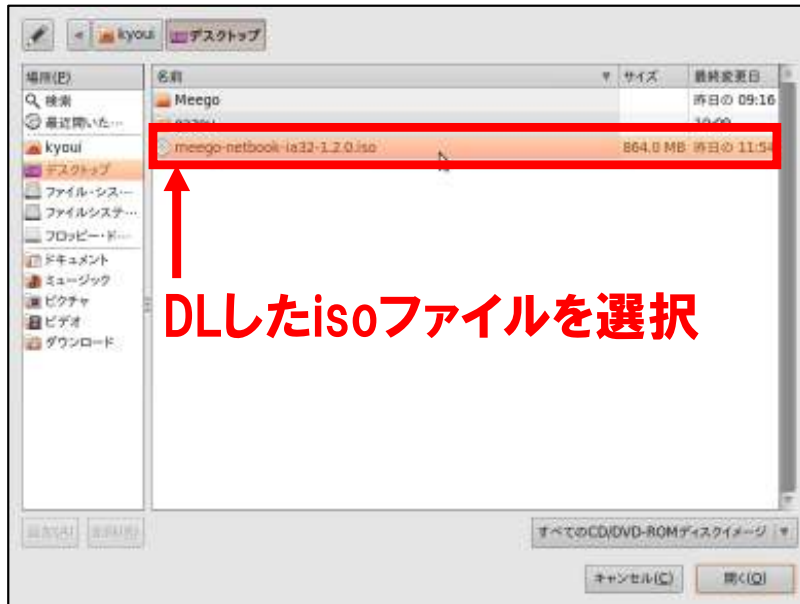
(次ページ)



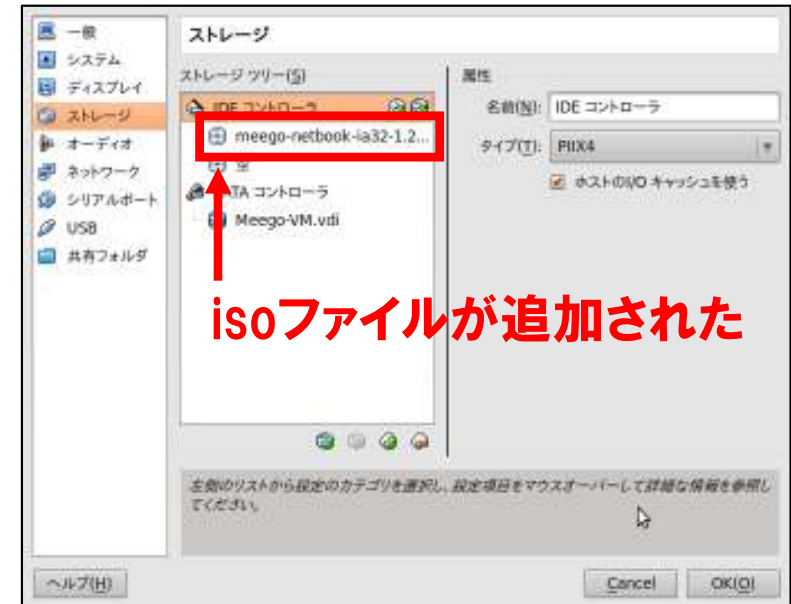
5. 仮想マシン設定



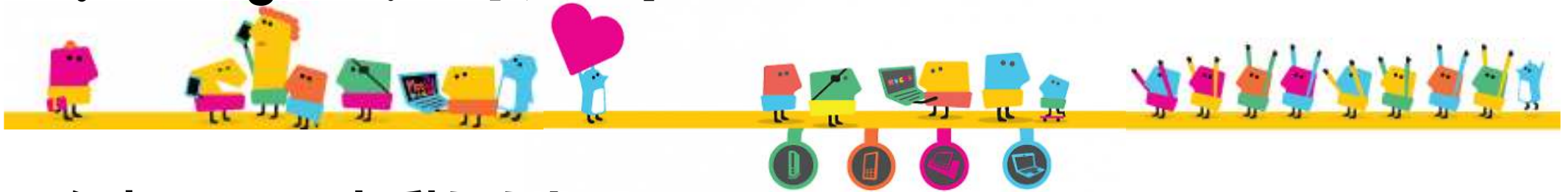
③



④

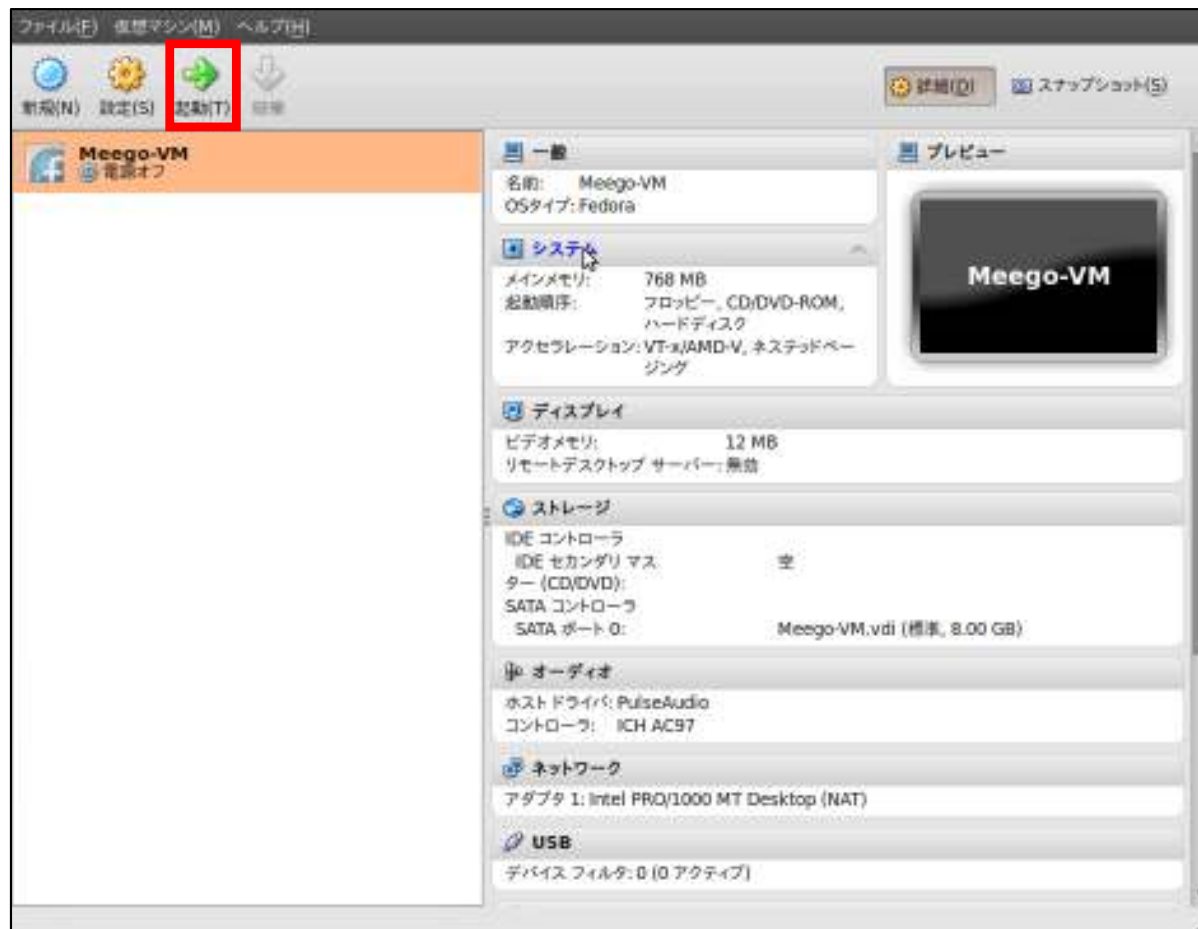


6. Meego 1.2 インストール

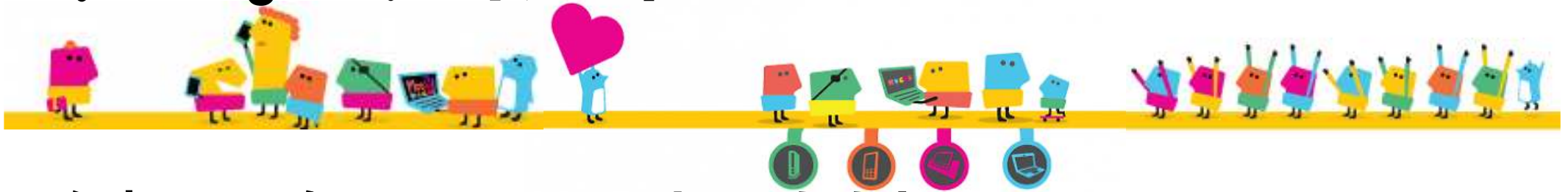


仮想マシンを起動します。

(1) 起動ボタンをクリックします。

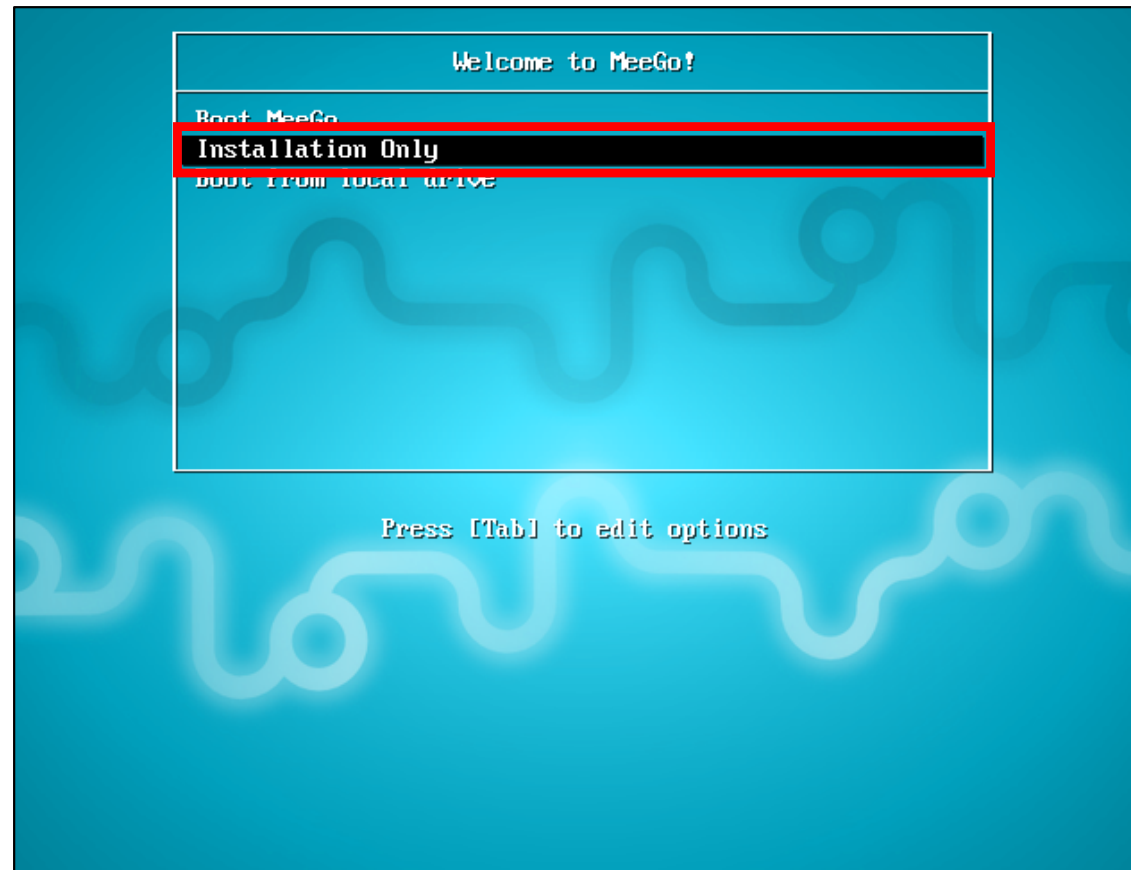


6. MeeGo 1.2 インストール

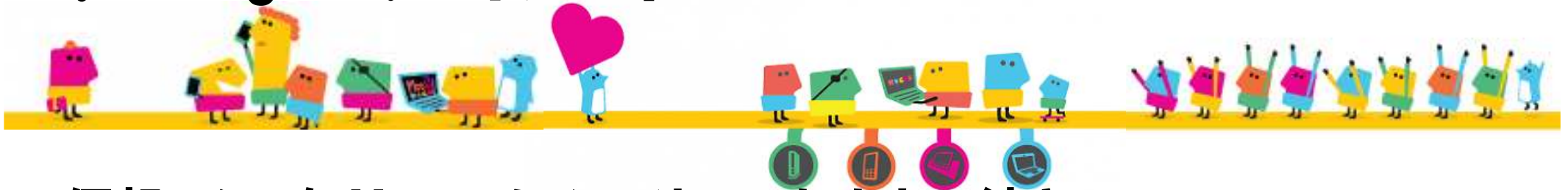


仮想マシンにMeeGoをインストールします。

(1) GRUBにて”Installation Only”を選択します。

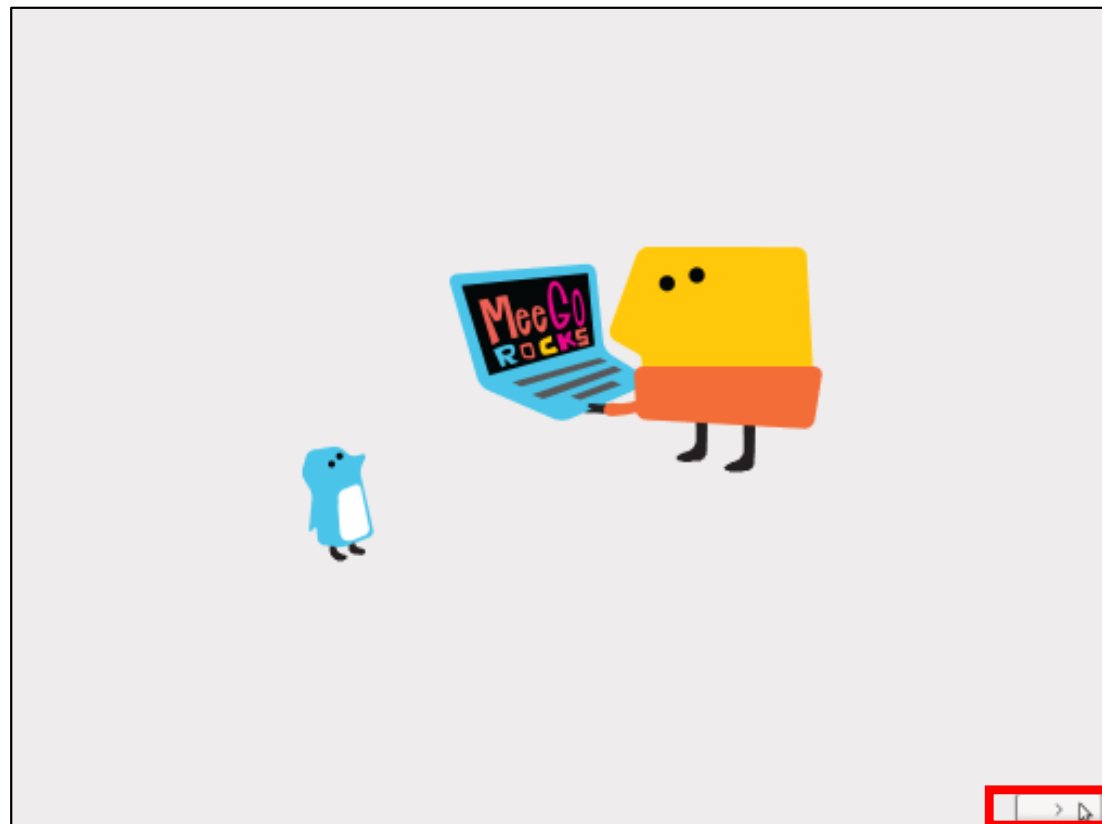


6. Meego 1.2 インストール

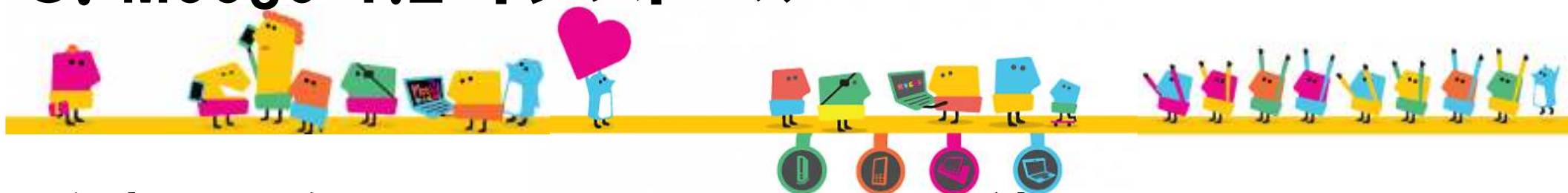


仮想マシンにMeegoをインストールします。(続き)

(2) 表示された画面で”>”をクリックします。



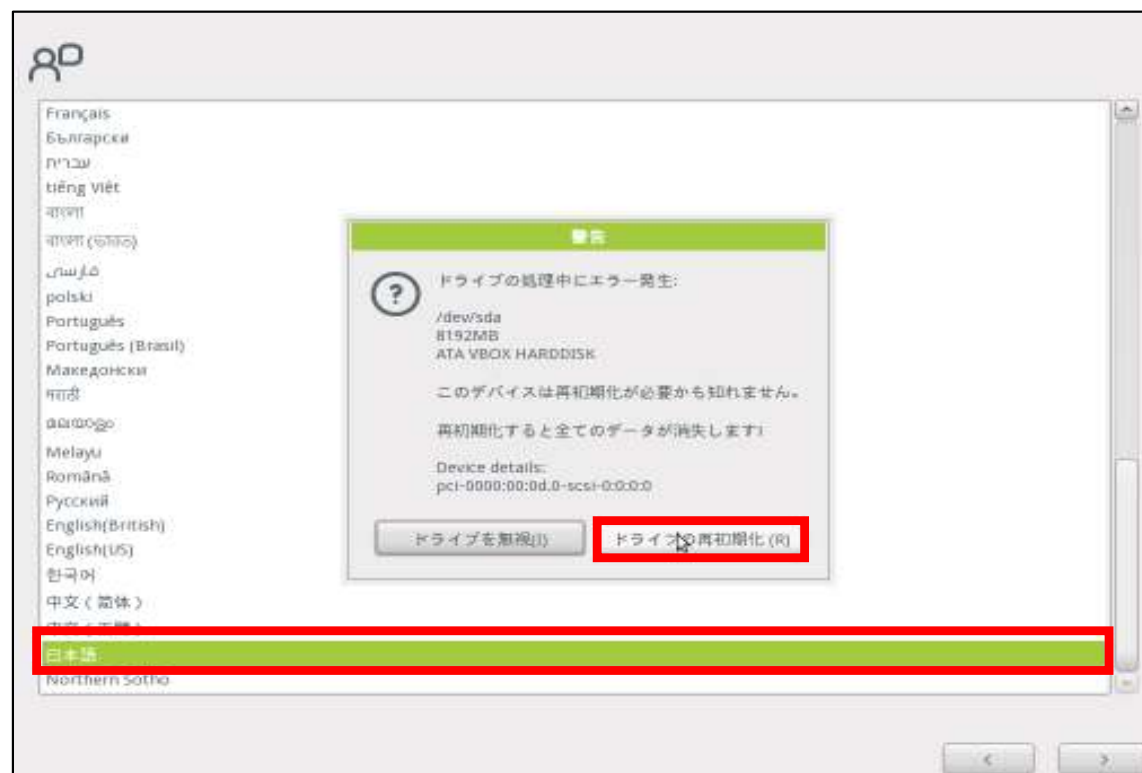
6. Meego 1.2 インストール



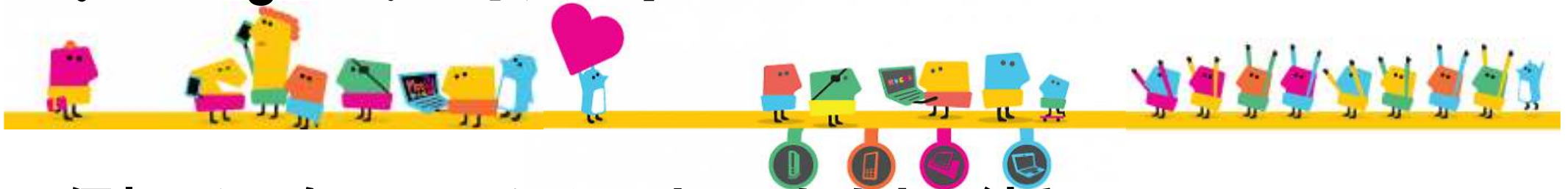
仮想マシンにMeegoをインストールします。(続き)

(3) 言語の選択画面で”日本語”を選択します。

再初期化の警告が表示されたら「ドライブの再初期化」を選択します。



6. Meego 1.2 インストール



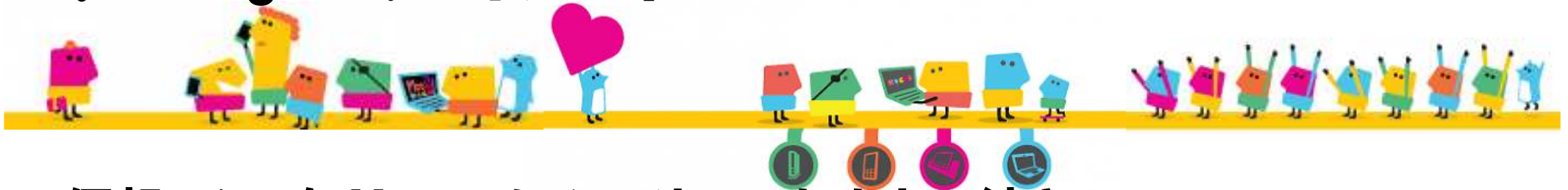
仮想マシンにMeegoをインストールします。(続き)

(4) パーティション設定を行います。

“選択したドライブ上のすべてのパーティションを削除してデフォルトレイアウトを作成します。”を選択します。”ストレージ設定をディスクに書き込み中”が表示されたときは、“変更をディスクに書き込む”を選択します。



6. Meego 1.2 インストール

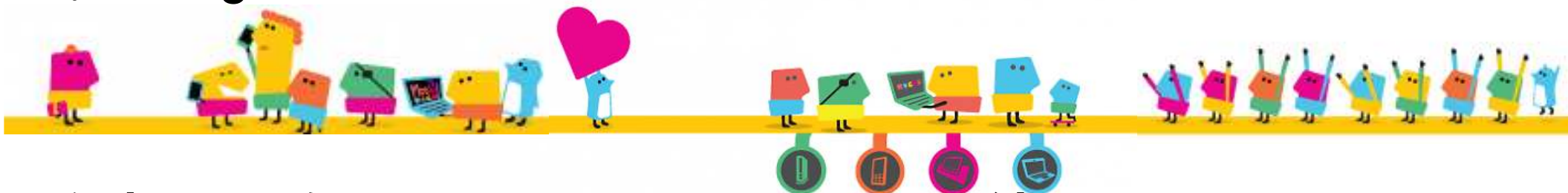


仮想マシンにMeegoをインストールします。(続き)

(4) インストールが終了するまで、放置します。



6. MeeGo 1.2 インストール



仮想マシンにMeeGoをインストールします。(続き)

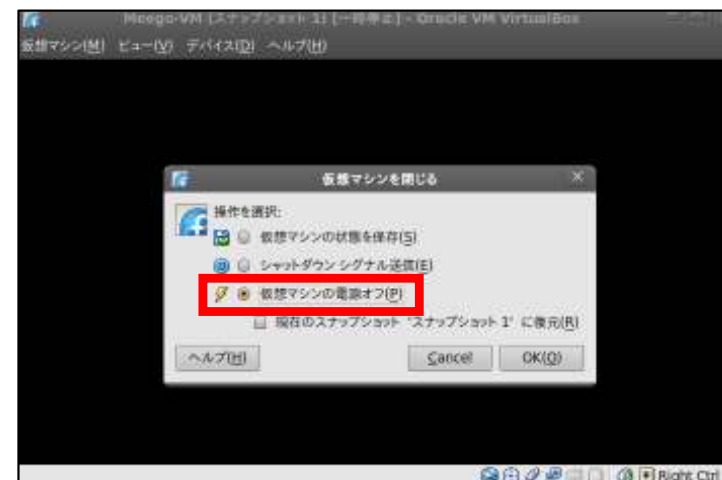
(5) インストールが終了したら仮想マシンを落とします。

“閉じる”を選択すると真っ黒画面になりますが、“仮想マシンの電源オフ”を選択して強制的に閉じてOKです。

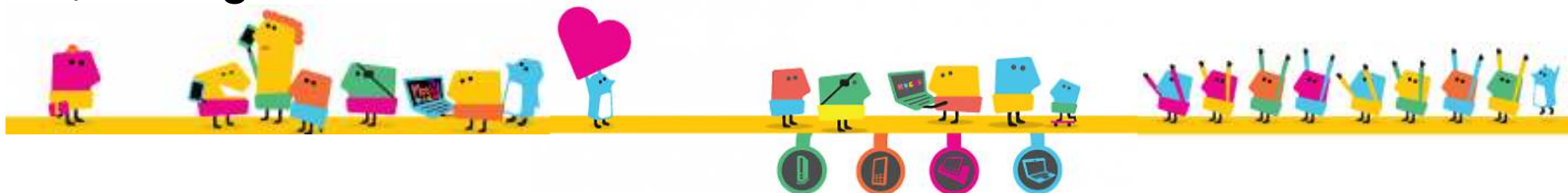
①



②



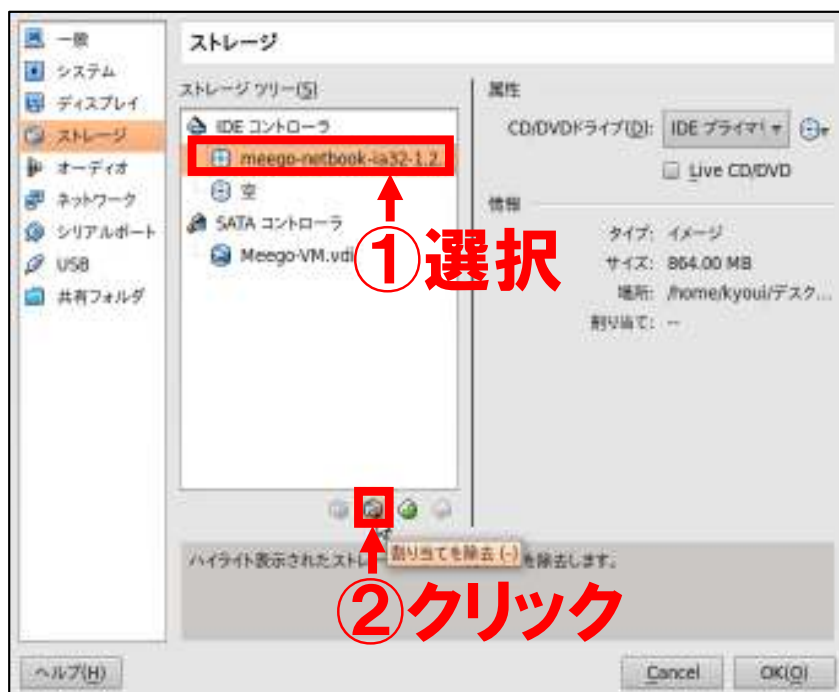
6. Meego 1.2 インストール



仮想マシンのストレージからisoファイルを削除します。

(6) 仮想マシン設定画面 (ストレージ) からisoファイルを削除します。

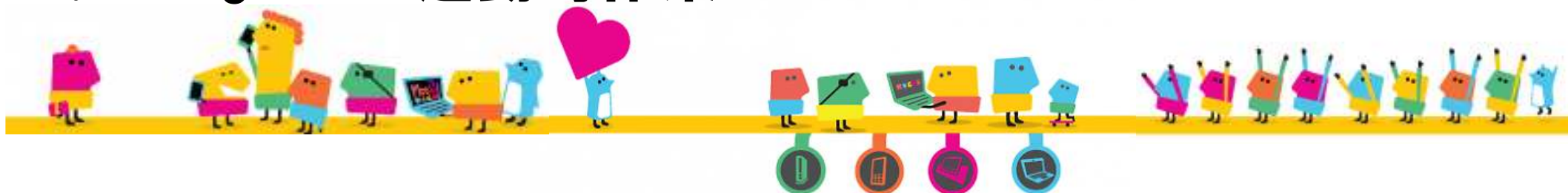
①



②



7. MeeGo 1.2 起動時作業



RunLevel=3でMeeGoを起動します。

(1) 仮想マシンを起動して、extlinuxを表示させます。

Virtual Box起動画面でEscキーを連打し、extlinuxを表示します。



この画面でEsc連打します。

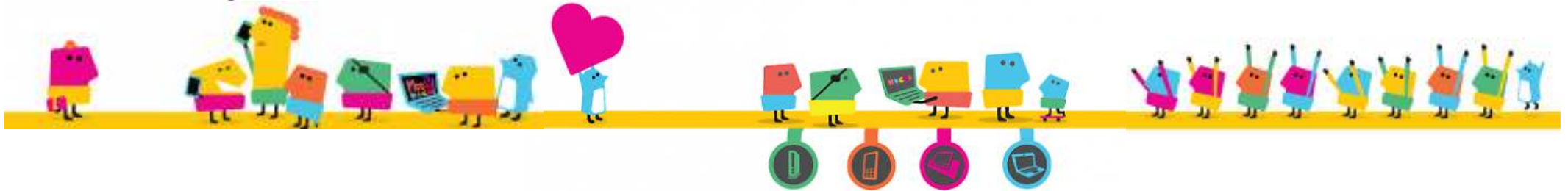


通常この画面はすぐ消えてしまいます。

※②の画面が表示されなかったら、仮想マシンを落として再チャレンジしてください。



7. MeeGo 1.2 起動時作業

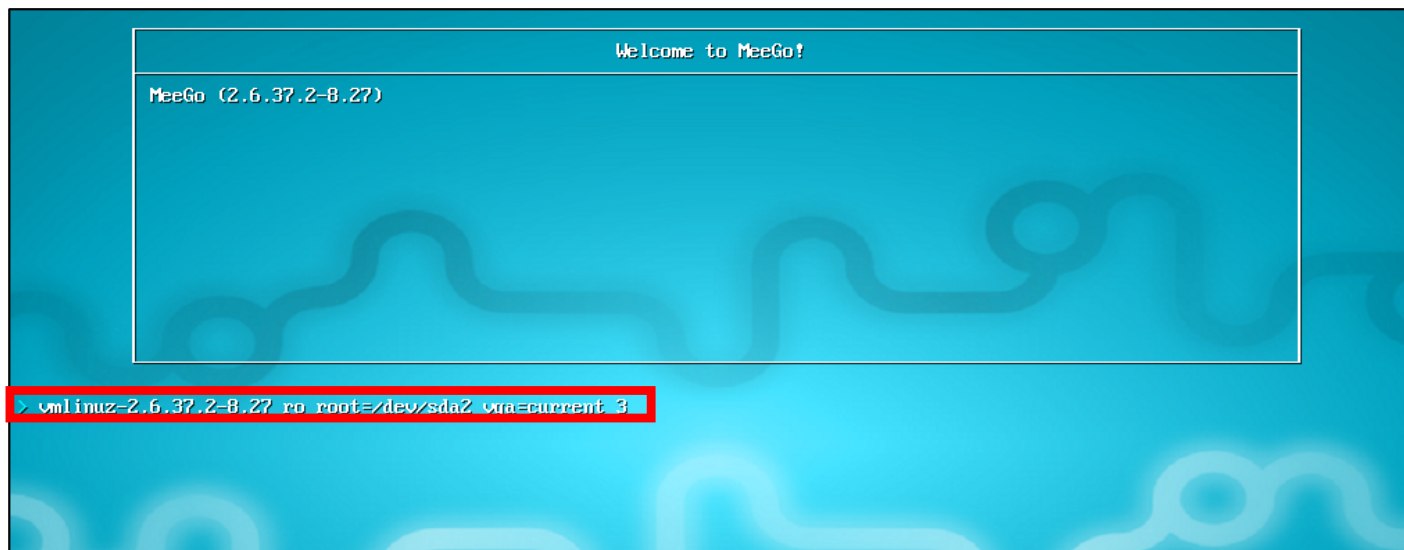


RunLevel=3でMeeGoを起動します。(続き)

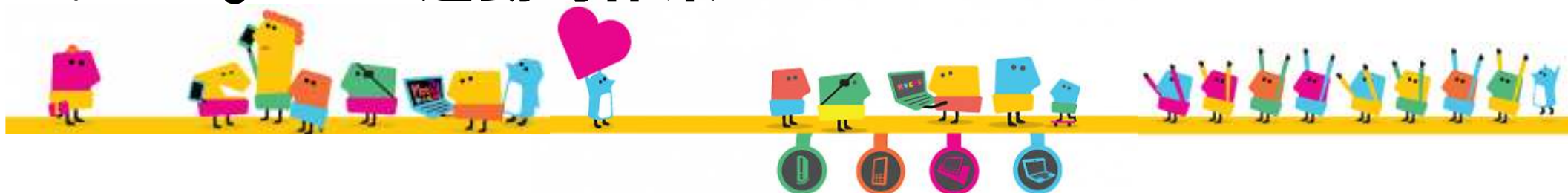
(2) extlinuxで起動コマンドを編集して、MeeGoを起動します。

extlinux画面でTabを押下し、起動コマンドを表示します。起動コマンドを以下のように編集して、MeeGoを起動します。

```
vmlinuz-2.6.37.2-8.27 ro root=/dev/sda2 vga=current 3
```



7. MeeGo 1.2 起動時作業



RunLevel=3でMeeGoを起動します。(続き)

(3) rootでloginします。

デフォルトは ユーザー:root、パスワード:meego です。

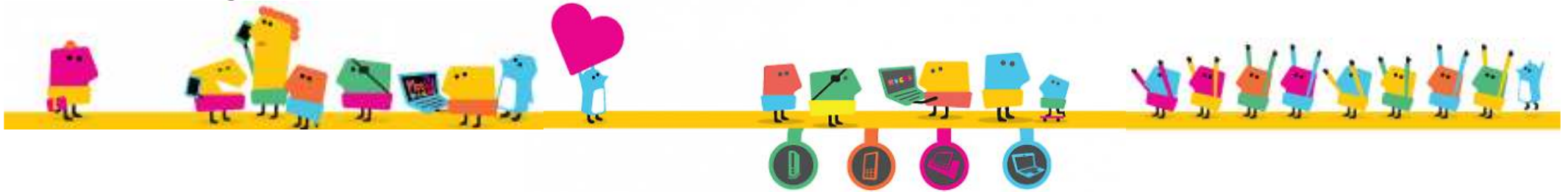
```
Meego-VM [実行中] - Oracle VM VirtualBox
仮想マシン(M) ビュー(V) デバイス(D) ヘルプ(H)

MeeGo release 1.2.0 (MeeGo)
Kernel 2.6.37.2-8.27 on an i686

localhost login: root
Password:
[root@localhost ~]# _
```



7. MeeGo 1.2 起動時作業



表示関連の設定を行います。

(1) 仮想関連のパッケージをインストールします。

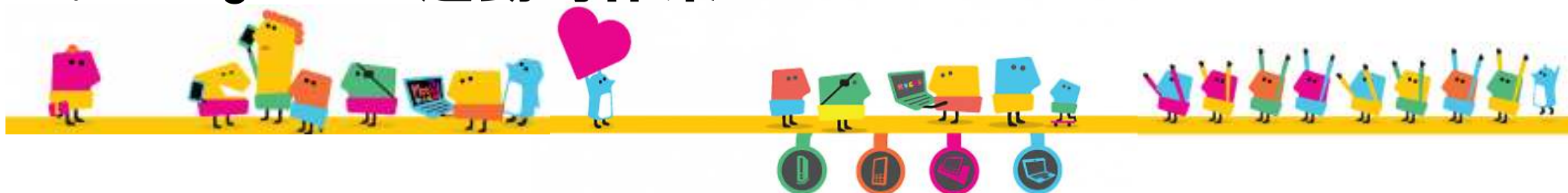
```
# zypper in xorg-x11-server-Xorg-setuid
```

Guest Additionsをインストールします。(Guest Additionsインストールは必須ではないようです。)

(1) デバイス→Guest Additionsのインストールを選択します。



7. Meego 1.2 起動時作業



Guest Additionsをインストールします。(Guest Additionsインストールは必須ではないようです。)(続き)

(2) インストールに必要な環境を作成します。

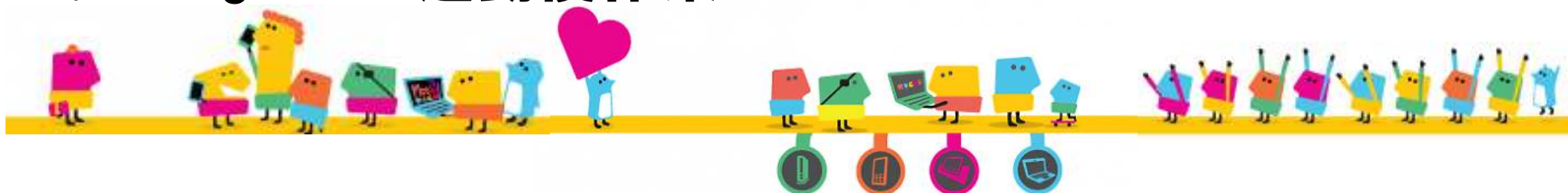
```
# zypper in make
```

```
# zypper in gcc
```

```
# zypper in kernel-devel
```



8. MeeGo 1.2 起動後作業



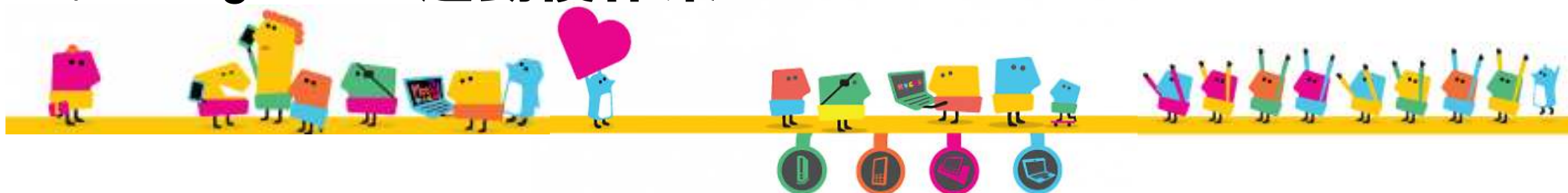
MeeGo 1.2を起動します。(続き)

(2) 以下の画面が表示されます。

“進む”をクリックします。



8. MeeGo 1.2 起動後作業



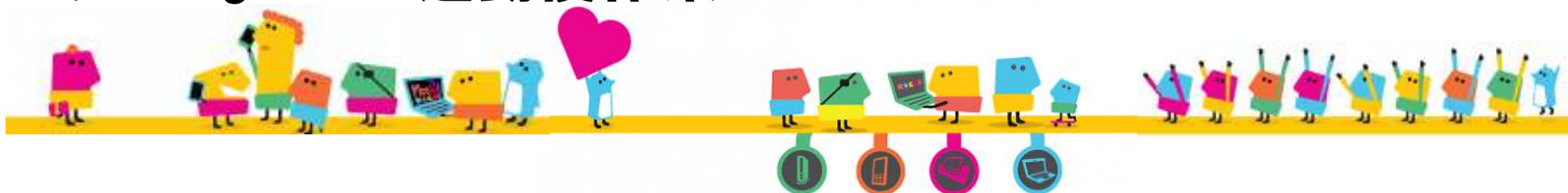
MeeGo 1.2を起動します。(続き)

(3) キーボードを選択します。

“日本語”を選択します。



8. Meego 1.2 起動後作業



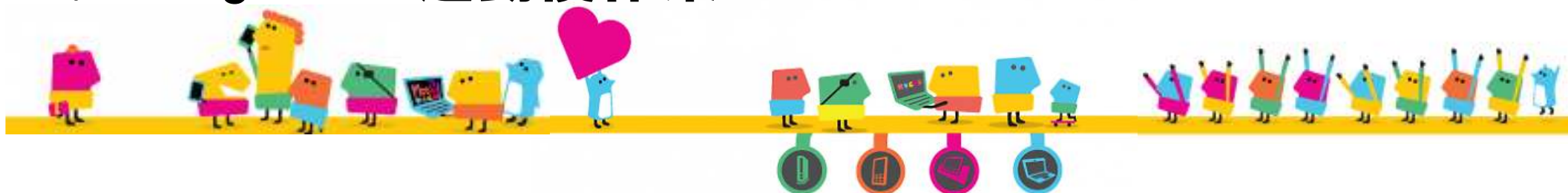
Meego 1.2を起動します。(続き)

(4) タイムゾーンを設定します。

デフォルトで東京になっているので“進む”をクリックします。



8. Meego 1.2 起動後作業



Meego 1.2を起動します。(続き)

(5) 日付と時刻を設定します。

時分秒を設定します。(デフォルトで正確な時間が設定されているようです。)

日付と時刻

日付 (D):

< 2011 > < 7月 >

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1	2	3	4	5	6

時刻:

現在の時刻: 10:38:43

時 (H): 10

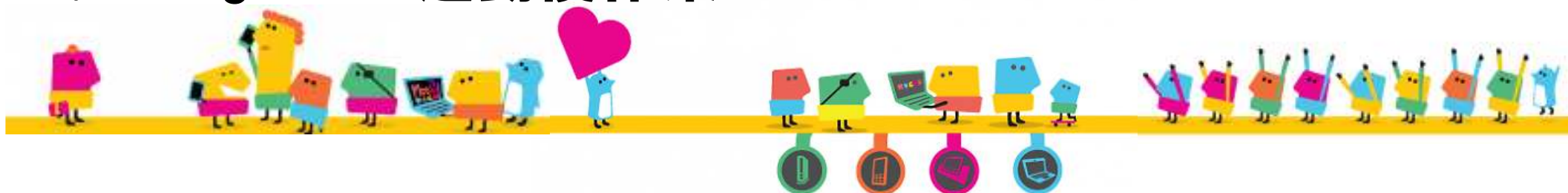
分 (M): 38

秒 (S): 43

戻る(B) 進む(F)



8. Meego 1.2 起動後作業



Meego 1.2を起動します。(続き)

(6) ユーザーを作成します。

rootパスワードは入力されたパスワードと同じものになります。

ユーザーの作成

システムでの(管理用途ではない)普通の作業用のユーザーを作成することを推奨します。以下の情報を入力してください。
注意: rootパスワードは、以下に入力されたパスワードと同じものが設定されます。

ユーザー名 (U):	test
フルネーム (F):	
パスワード (P):	****
パスワードの確認 (C):	****

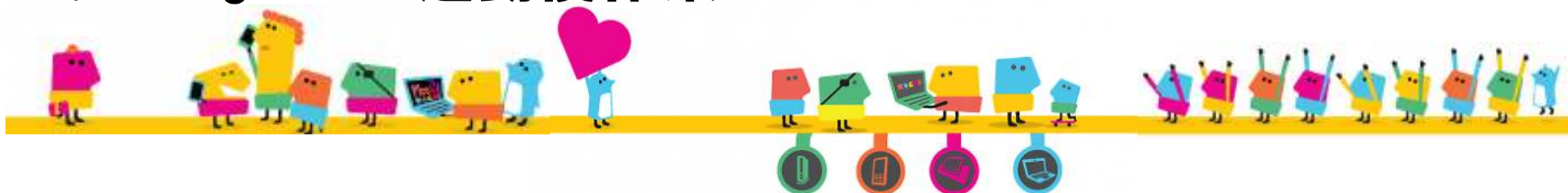
データを暗号化(D)

戻る(B) 終了(F)

Right Ctrl



8. MeeGo 1.2 起動後作業

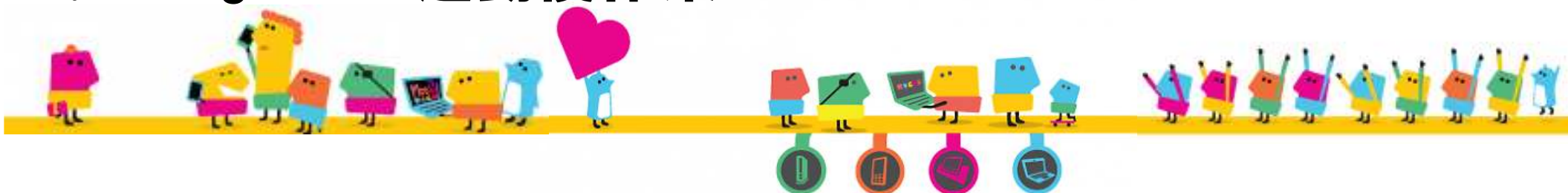


MeeGo 1.2を起動します。(続き)

(7) Home画面が表示されます。



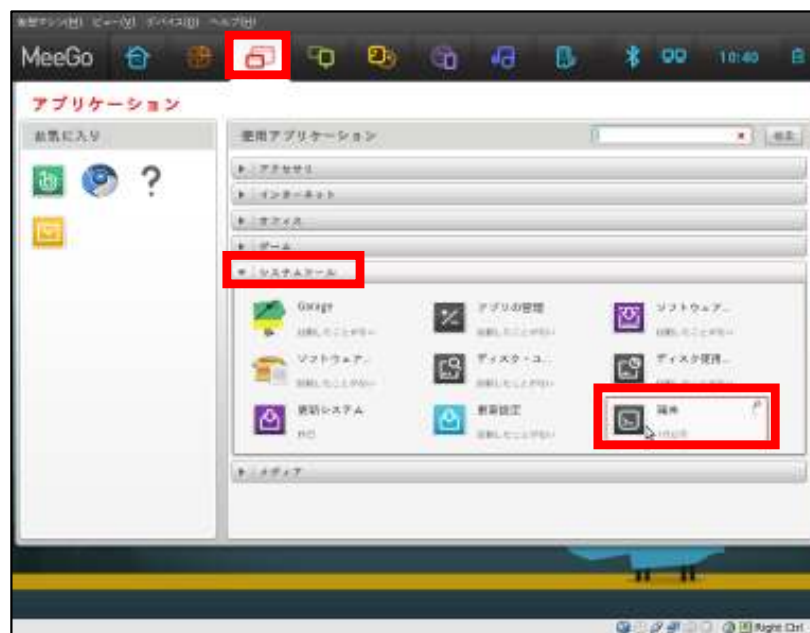
8. MeeGo 1.2 起動後作業



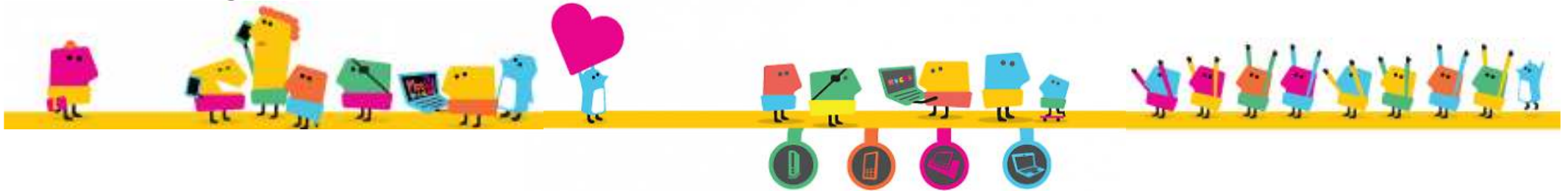
clutterをインストールします。(clutterインストールは必須ではないようですが、調べたので紹介します)

(1) UX上で端末を起動するか、Runlevel=3で起動します。

端末の起動はMeeGo上でアプリケーション→システムツール→端末を選択します。UXが重ければRunlevel=3で起動してください。



8. Meego 1.2 起動後作業



clutterをインストールします。(clutterインストールは必須ではないようですが、調べたので紹介します) (続き)

(2) yumコマンドを追加します。(必要ないような気がする)

```
# sudo zypper install yum
```

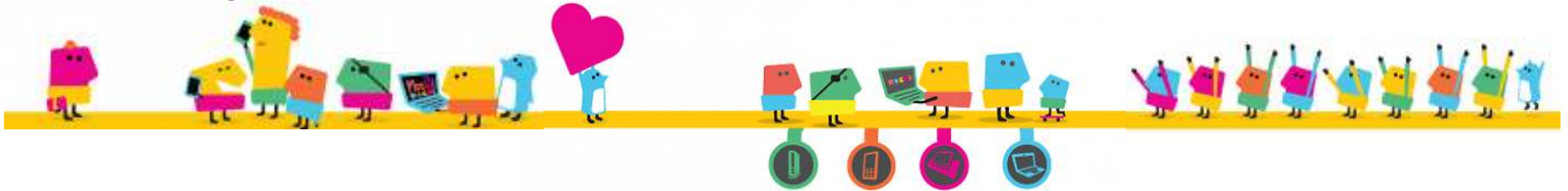
```
# sudo zypper install yum-utils
```

(3) clutterライブラリをインストールします。

```
# sudo zypper install clutter-devel
```



8. Meego 1.2 起動後作業



clutterをインストールします。(clutterインストールは必須ではないようですが、調べたので紹介します) (続き)

(4) clutter 1.2.14をダウンロードしてパッチを当てます。

```
# wget http://source.clutter-project.org/sources/clutter/1.2/
```

```
clutter-1.2.14.tar.bz2
```

```
# tar xvjf clutter-1.2.14.tar.bz2
```

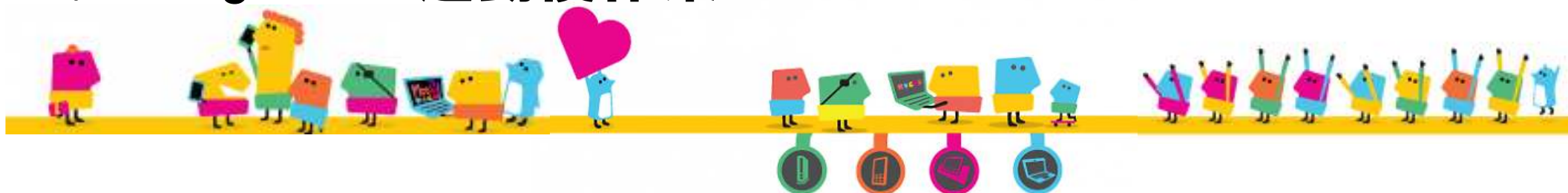
```
# cd clutter-1.2.14
```

```
# wget http://wiki.meego.com/images/Clutter-xvisual-patch.txt
```

```
# patch -p1 < Clutter-xvisual-patch.txt
```



8. Meego 1.2 起動後作業



clutterをインストールします。(clutterインストールは必須ではないようですが、調べたので紹介します) (続き)

(5) ビルド後、インストールします。

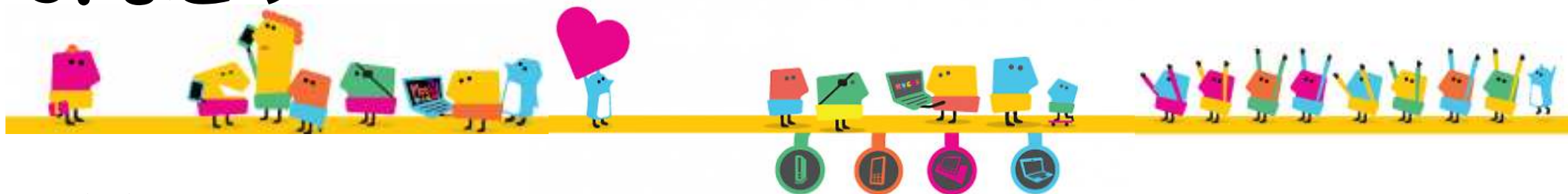
```
# ./configure --prefix=/usr
```

```
# make
```

```
# sudo make install
```



9. まとめ



(1) 感想

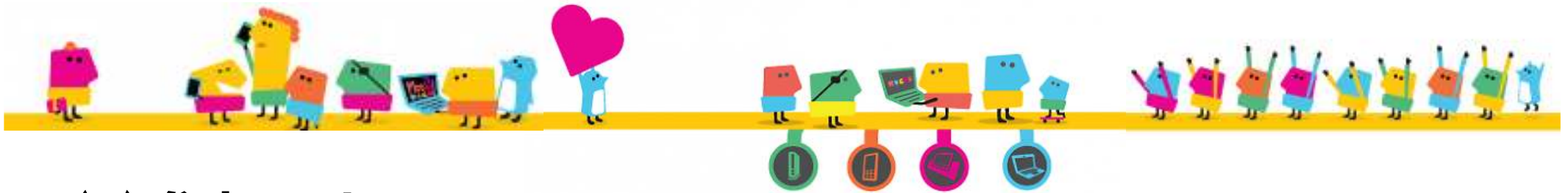
私のPCでのVirtual Box上でのMeegoはかなり動きが重く、遊びでも使えないレベルでした。仮想マシン上ではハードウェアアクセラレーションが動かないためだそうです。

超高性能PCを持っている人以外は、ちょっと動作を確認するくらいしか、使い道がないのかもしれませんが。

MeegoはAtom専用というわけではないようですが、x86で動かせても、難点が多いのだそうです。



9. まとめ



(2) 参考サイト

•Virtual Boxインストール

http://www.virtualbox.org/wiki/Linux_Downloads

•Meego 1.2 インストール

<http://www.99bits.com/2010/09/how-to-install-meego-on-virtualbox/>

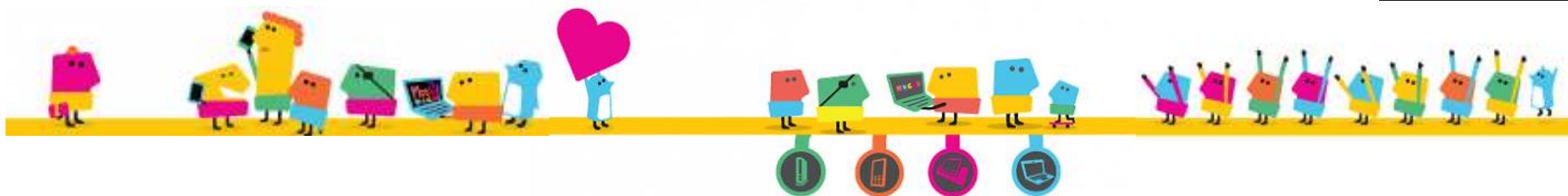
•仮想マシン設定、Meegoインストール後の作業

<http://wiki.livedoor.jp/furikku9310/d/MeeGo>

•clutterインストール

<http://forum.meego.com/archive/index.php/t-3134.html>





END

この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 改変禁止 2.1 日本 ライセンスの下に提供されています。

